

医療研究全国集会in青森

第40回



画像提供: (社) 青森観光コンベンション協会

安心できる医療・介護と社会保障、実感できる震災・原発事故からの復興。笑顔忘れず、夢あきらめず、うって(うんと)学んでかだって(語って)、みなして(みんなで)創りあげよう、つなく未来を

1日目 6/14 (金) リンクステーションホール青森 (青森市文化会館)

12:00 開場・受付開始
13:30 開会
14:10 記念講演

今日の貧困問題と社会政策の課題 ～医療・介護・社会保障の充実を～

唐鎌 直義 先生 (立命館大学産業社会学部教授)

16:15 特別報告 東日本大震災・復興支援の報告

大竹 進先生 (青森県保険医協会会長)

17:00 全体会終了
18:30 青年交流会 (わいん倶楽部)
食文化交流会 (リンクステーションホール青森)

国民と広く連帯し、患者・地域住民と
医療・福祉労働者の人権・生命の尊厳を守ろう

2日目 6/15 (土) リンクステーションホール青森 青森県観光物産館アスパム

分科会 市民講座
9:00 各会場・受付開始 12:00 市民講座・受付開始
9:30 分科会開始 13:00 市民講座開始
16:00 分科会終了 17:00 市民講座終了

3日目 6/16 (日) リンクステーションホール青森 (青森市文化会館)

8:50 開場・受付開始
9:30 記念講演
地域に合った住民が求める医療とは
～コミュニティと医療のあり方を見つめて～
佐藤 元美 先生 (一関市病院事業管理者、一関市国保藤沢病院長)
11:15 医療研全国集会まとめ
11:35 終了



主催 第40回 医療研究全国集会組織委員会 TEL03-3875-5871

〒110-0013 東京都台東区入谷1-9-5 日本医療労働会館3F 日本医療労働組合連合会 <http://www.irouren.or.jp/>

協賛 第40回医療研究全国集会in青森 現地実行委員会

医療研全国集会現地実行委員会 青森県医療労働組合連合会、青森県社会保障推進協議会、青森県保険医協会、青森県民主医療機関連合会、日本自治体労働組合総連合青森県本部、弘前大学職員組合 (50音順)

会場および宿泊ホテル案内図



交通アクセス [リンクステーションホール青森(青森市文化会館)]

タクシー (約20分)

新幹線 新青森駅

JR接続列車 (1駅 6分)
定額タクシー (10分 1,500円)

JR 青森駅

青森市営バス (15分 240円)
タクシー (約10分)
徒歩 (約3.4km 約34分)

全体会会場
青森市文化会館

青森空港

空港連絡バス
(約40分 680円)

東北道 青森中央インター

乗用車
(約20分)

タクシー (約30分)

※JR青森駅から観光物産館(アスパム)へは徒歩5分

JR 青森駅より
●青森市営バス (約15分)
正面口②乗場から「東部営業所行き」又は「県立病院行き」乗車 (古川経由又は新町経由に乗車。青柳橋経由は文化会館前は通りません。)
→文化会館前下車 (240円)
●タクシー (約10分)

新幹線 新青森駅より
●接続列車 乗車 (1駅 6分)
→青森駅下車
青森駅から左記ルートにて

青森空港より
●空港連絡バス (約40分)
→JR青森駅下車 (680円)
青森駅より左記ルートにて

- 1 ホテル青森
- 2 ホテルクラウンパレス青森
- 3 アルファホテル青森
- 4 青森グリーンパークホテルアネックス
- 5 青森ワシントンホテル
- 6 ホテルJALシティ青森
- 7 ホテルサニール青森
- 8 ホテルルートイン青森駅前
- 青森グランドホテル(全国集会事務局)

全体会・分科会会場
食文化交流会会場
リンクステーションホール青森

サブスローガン 安心できる医療・介護と社会保障、実感できる震災・原発事故からの復興。笑顔忘れず、夢あきらめず、うって(うんと)学んでかだって(語って)、みなして(みんなで)創りあげよう、つなぐ未来を

1日目 6/14 (金)

リンクステーションホール青森

記念講演 14:10～



1952年群馬県館林市生まれ、1974年静岡大学人文学部法律経済学科卒業。1982年中央大学大学院経済学研究科博士後期課程満期退学。1981年獨協大学経済学部非常勤講師(1989年3月まで)、1989年長野大学産業社会学部社会福祉学科専任講師(1992年より助教授)、1995年大正大学人間学部社会福祉学専攻助教授(1999年より教授)、2002年専修大学経済学部教授、2010年専修大学を依願退職し、フリーの研究者に、2012年立命館大学 産業社会学部教授(現在に至る)。主な著書に「日本の高齢者は本当にゆたかか」(単著、萌文社、2002年刊)、『社会保障構造改革』(共著、大月書店、2005年刊)、『福死国家に立ち向かう』(共著、新日本出版社、2007年刊)、『どうする! あなたの社会保障』(①医療、②介護、③年金、④生活保護、編著、旬報社、2007年刊)、『脱貧困の社会保障』(単著、旬報社、2012年刊)。

今日の貧困問題と社会政策の課題 ～医療・介護・社会保障の充実を～

立命館大学産業社会学部教授 唐鎌 直義先生

3日目 6/16 (日)

リンクステーションホール青森

記念講演 9:30～



昭和30年3月岩手県千厩町生、昭和54年自治医科大学卒業。平成23年一関市病院事業管理者、一関市国保藤沢病院長。現在、自治医科大学学外講師(地域医療学センター)、岩手医科大学医学部臨床教授。全国国民健康保険診療施設協議会理事、岩手県地域医療研究会会長、岩手県医療審議会委員。日本内科学会、日本プライマリ・ケア学会、日本糖尿病学会、日本心臓内科学会に所属。主な著書に『青木誠、松原茂樹編集医学書院総合診療ブックス“妊婦・更年期婦人が一般外来にきたとき”』(1999年刊)、『保健福祉活動の手引きーその心と活動の実際』(きょうせい、2000年刊)、『レジデント臨床基本技能イラストレイテッド第2版』(医学書院、2001年刊)、『高齢者の外来診療で失敗しないための21の戒め』(医学書院、2001年刊)、『地域医療テキスト』(医学書院、2009年刊)、『健康増進外来-理想の糖尿病外来をめざして』(新興医学出版社、2011年刊)。

地域に合った住民が求める医療とは ～コミュニティーと医療のあり方を見つめて～

一関市病院事業管理者、一関市国保藤沢病院長 佐藤 元美先生

2日目 6/15 (土)

分科会 9:30～16:00

リンクステーションホール青森
青森県観光物産館アスパム

1 2011.3.11から地域医療の ありかたを考える

申込番号: 1

国の役割や歴史を無視して、社会保障の変質・解体を目指す「社会保障と税の一体改革」の強行と、これに抗する運動が激化する中取り組まれる今回の医療研。地域医療・福祉のあり方、そこに携わる私たち医療労働者の立ち位置も鋭く問われています。現場で起こっていることや、被災地における地域医療再生の動きもとおして、あるべき姿を交流しましょう。

2 安心して暮らせる地域 今求められる救急・災害時医療とは?

申込番号: 2

救急・災害時医療をめぐる情勢、各病院の救急関連職場の労働実態を交流します。東日本大震災は災害時医療の現状や課題を浮き彫りにしました。地殻変動期を迎えた日本列島は、同規模の地震や津波が、関東や西日本で起きる可能性があり、各医療機関に対策が求められています。災害時における医療提供体制や課題を討論します。

3 保健予防活動を地域住民とともに ～健診、地域での健康づくり活動をすすめるために～

申込番号: 3

「元気で生きたい」その思いに応えるために私達医療者が果たす役割を考える場として、地域での健康づくり、健康診断と保健活動、更に地域レベルでの糖尿病や高血圧などの慢性疾患への働きかけ、更に予防の1つとして「増えている若者HIV患者の現状と予防の実践報告」などを通して、学び交流しましょう。

4 看護ケアの質 ～専門性を高める～

申込番号: 4

日々の実践の積み重ねがケアの質に繋がると考えています。その実践を支えている現場の皆さんから実践レポートを報告してもらい、ケアの質に拘り討論を深めたいと考えています。

5 外来と在宅をつなぐケア

申込番号: 5

近年、病院外来看護師、退院調整スタッフ、訪問看護師やケアマネ達は、不十分な体制や人員不足等で、各々が十分に役割を果たせないジレンマを抱えています。外来と在宅をどのように連携すれば、よりよいケアに繋がるのか、討論を深めましょう。実践報告レポート、当日参加多数お待ちしております。

6 ともに育ちあう職場づくり ～看護・介護の喜びを伝えたい～

申込番号: 6

どんな看護・介護を目指しているのか、何を大切にしているのか、自分を見つめ直す機会にしてみませんか。世代や働く分野を超えて語り合いましょう。そして、看護・介護本来の仕事ができるよう、1人1人が健康に豊かに働き続ける一助となるような交流をしたいと考えています。

7 医療政策と看護労働

申込番号: 7

昨年は、働き方の基本は8時間、ILO看護職員条約と私達の運動の中で出させた5局長通知を職場に根付かせようと語られました。その後の職場の変化は? 議論も無いままチーム医療の名の下に特定能力認証制度?准看護師制度は?職場で何が起きている?どうして?を全国の取組から学びましょう。レポートと参加を。

8 障がい児(者)の権利と 心に寄り添う医療・福祉

申込番号: 8

政権交代に伴い、障がい児(者)制度、政策に新たな動きが見られます。昨年10月施行の「障害者虐待防止法」は、障がい者への虐待や権利侵害に対し、介護上での意識変革が求められます。障がい児(者)への権利擁護、福祉サービスや、医療、介護はどうあるべきか考え、福祉制度改善にむけて話し合いたいと思います。幅広い皆さんの参加とレポートをお待ちしています。

9 精神医療・保健・福祉の 改善を目指して

申込番号: 9

現在、精神疾患は5疾病5事業に入り、昨年厚労省の検討会から認知症ケア体制の構築、保護者制度の廃止、3か月未満の精神科特例廃止の報告が出されるなど、精神保健医療福祉政策は大きな転換期を迎えています。その情勢を学習し、現場での実践・経験レポートを交流し合い、運動に確信の持てる集会にしていきましょう。

10 リハビリテーションの現場で 求められるもの

申込番号: 10

医療・介護・福祉の各領域でリハビリテーションのニーズは高まっており、私たちは、患者さん、利用者さん一人一人の生活をより豊かにすべく頑張っている。

す。社会の移り変わり、制度の改訂と共に変化する職場環境や労働条件について、また日々大切にしている取り組みについて討論し、明日からの実践につなげていきましょう。

11 患者のための臨床検査

申込番号: 11

命を測る臨床検査の仕事に誇りを持って働き続けるために討論を行います。分科会は、レポート報告と課題別討論(夜勤問題、採血問題、業務拡大等)を中心に、全国の仲間と経験を共有します。恒例の交流会は、疲れを癒し親睦を深める場として定着しています。皆さんの参加とレポート報告をお待ちしています。

12 患者・施設利用者の給食改善 ～治療食・介護食の充実をめざして～

申込番号: 12

給食の委託やセンター化など、この間様々な課題を抱えながらも、私達は工夫を積み重ね「給食改善」を行ってきました。嚥下食や介護食、そして治療食についての努力の成果をこの医療研で交流・研鑽し、自分達の職場に持ち帰って実践に結び付けてきました。今年も全国の仲間の経験や工夫、実践の成果を持ち寄って大いに学び合いましょう!

13 職場の安全衛生と環境改善

申込番号: 13

労働安全衛生アンケートの結果、6割以上の職場にメンタルヘルス不調者がいます。夜勤・交替制労働や日常的な睡眠不足など厳しい労働実態にも関係があります。職場から法違反をなくし、安全・安心の職場づくり、労働安全衛生委員会の運営、腰痛予防や感染予防など医療機関特有の問題も含め、職場の現状とその改善の取り組みを報告して頂き討論・交流します。

14 施設介護

申込番号: 14

今年からは介護の分科会を施設介護と在宅介護の2つに分けて開催します。「施設介護分科会」では、多くの利用者が入居する施設で、「その人らしさ」を大切にしながら介護することの「難しさ」や「やりがい」を交流・共有し、介護の専門性と介護労働者の社会的地位を高めることを追求します。

15 在宅介護

申込番号: 15

今年からは介護の分科会を施設介護と在宅介護の2つに分けて開催します。「在宅介護分科会」では、サービス制限が強まり在宅介護の専門性が奪わ

れるなかで、実践を通した経験を交流しながら在宅介護の重要性を確認し、介護の専門性と介護労働者の社会的地位を高めることを追求します。

16 「放射線被ばく」について考える ～自然、医療、原発・核燃サイクル～

申込番号: 16

日本は世界で唯一原爆投下された国であるにもかかわらず、国民は「被ばく」について鈍感です。医療被ばくは先進国で一番多く、福島原発事故では不必要な被ばくを国は住民に押し付け、更に青森「核燃サイクル」移動の危険も迫る中、今回改めて「被ばく」の危険について考えます。

17 薬と社会

申込番号: 17

地域で働く薬の専門家として、薬剤師の皆さんが取り組んでいる諸課題について、調査や活動報告、問題提起などを広く募集します。2012年度の診療報酬改定で認められた「病棟薬剤業務実施加算」をめぐる実践、薬局における薬学的管理指導等、薬剤師の役割や存在意義はどのように発揮されているでしょうか。薬害の防止・根絶、被害者支援の活動も含め、現場での活動経験や問題意識等について積極的なレポート報告と参加をお願いします。また、環太平洋連携協定(TPP)が医療や医薬品にもたらす重大な影響や、原発、核燃料再処理問題等についても問題提起していただき、活発な討論ができることを願っています。

動く分科会 六ヶ所村核燃料サイクル施設と三沢米軍基地

ここは青い森。ねふたに十和田湖、おいしい「水」もあるけれど、「米軍基地」や「核燃・原発」もあるのです。百聞は一見にしかず。みんなで考えよう。子どもたちに託す国と社会のあり様を。

コ－ス 青森駅前(9:00発)⇒三沢米軍基地および関連施設⇒古牧温泉(昼食)⇒六ヶ所原燃PRセンター⇒青森駅前(18:00着)

参加費用 お一人様 4,000円(昼食代含みます)

2日目 医療研究全国集会市民講座 13:00～17:00 リンクステーションホール青森

原発・貧困・震災復興をめぐる

- 講演 ① 原発労働者の実態と問題について
② 今日の貧困問題と社会保障
③ 震災復興と被災地医療